

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387



全国公害被害者総行動デーでの局長交渉 (記事は次頁)

大阪から公害
をなくす会

第33回総会 開かれる

大阪から公害をなくす会の第33回総会が、6月14日、大阪民医連会議室で開かれました。初めに金谷会長の開会挨拶があり、アスベストやイレッサ高裁判決の時代逆行性を批判。寝屋川廃プラ問題では、公害調停委員会が大きな力を発揮していること。ぜん息未認定患者救済活動では、被害者が先頭に立つ主体性の確立が必要と指摘がありました。



総会であいさつする金谷会長

また、原発再稼働問題については、政治判断だけで再稼働を容認する政府の姿勢を批判しました。

今年の重点課題を提案

議案提案では、大阪泉南アスベスト国賠訴訟、寝屋川「廃プラ」問題、ぜん息被害者救済制度づくり、道路公害問題など各分野の取り組み、そしてNO₂測定運動や環境学校、公害デーなどの課題別取り組みについて提案されました。

また、2012年度の重点課題として、①原発ゼロの会・大阪の府民運



感想を述べる芹沢顧問

動の発展と自然エネルギー推進の具体化②東海・東南海・南海巨大地震、津波に備えた防災の取り組みの強化③会員拡大と財政基盤の確立④被害者救済運動の交流の場を持ち、府民運動に広げていくこと、の4点を確認しました。

各分野から活発な討論が行われました

討論では、7名から発言がありました。

アスベスト国賠訴訟は、最高裁で勝利するために、大阪地裁2陣控訴審での勝利が不可欠であることが報告されました。

寝屋川廃プラ問題では、公害調停委が「化学物質調査を工場

内・住宅地で行う」等、希望が持てる闘いになってきたことが報告されました。

原発ゼロの会からは、大阪原発再稼働反対の取り組みと6・27関西電株主総会に向けての行動提起、7・16東京10万人集会の呼びかけが行われました。

公害患者会からは、ぜん息被害者救済署名を7万人分集めたこと。全国では32万の請願署名が集まり、内16万の署名を国会に提出したことが報告されました。また、そらプロジェクトの調査では、環境省の態度を改めさせる勉強会を開催していることや、東京都の医療費救済条例で6万7千人が救済され、64%の方が症状を改善していることが先進的な取り組みとして紹介されました。

全議案が確認され、特別決議、総会アピールを採択しました

中村事務局長のまとめの後、取り組みの総括・活動方針、11年度決算と12年度予算、新役員体制を一括して確認しました。そして、大阪原発再稼働に反対する「総会特別決議」、公害をなくす会への参加を訴える「総会アピール」の採択を行い、岩本副会長からの挨拶で閉会しました。